

会 議 概 要

会議の名称	平成29年度第2次社会教育中期計画策定にかかる 第1回 第5専門部会（スポーツ活動・スポーツ施設）会議
開催日時	平成29年8月18日（金） 午後7時00分～
開催場所	湧別町文化センター さざ波 中会議室
出席者名	スポーツ推進委員～石川委員長、小橋副委員長、野口委員、神尾委員、白田委員、中元委員、加藤委員、峯田委員、海谷委員 9名 オブザーバー～宮澤委員長、石垣副委員長 教委～星課長、藤本係長、野村主事
欠席者名	鈴木委員、吉本委員、黒田委員、岸下委員、木村委員、涌島委員、依田委員 7名
傍聴人の数	なし
会議の内容	(1) 第2次社会教育中期計画第2専門部会 ・スポーツ振興・スポーツ施設の現状と課題について (2) その他 ・第59回北海道スポーツ推進委員研究協議会について
会議資料	会議議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

記録者職氏名

社会教育課	スポーツ振興係
係 長	藤 本 祐 司

1 日 時

平成29年 8月18日(金) 午後6時00分～午後7時40分

2 会 場

湧別町文化センター さざ波 中会議室

3 会議及び用務

第2次湧別町社会教育中期計画策定にかかる

第1回 第5専門部会（スポーツ活動・スポーツ施設）会議

4 出席者

スポーツ推進委員～石川委員長、小橋副委員長、野口委員、神尾委員、白田委員、
中元委員、加藤委員、峯田委員、海谷委員 9名

オブザーバー～宮澤委員長、石垣副委員長

教委～星課長、藤本係長、野村主任

5 結果要旨

- ・議題に入る前に全体の部会構成の説明を行い、オブザーバーとして社会教育委員長、副委員長が入ることとなり、宮澤委員長、石垣副委員長より一言挨拶を頂いた。

①スポーツ活動・スポーツ施設の現状と課題について

- ・別紙議案に基づき説明した。
- ・説明後、文章に対して何か漏れている所などの意見を伺う予定であったが、なかなか意見が出にくいため、日頃思っていることやこうなって欲しいという夢を語る場（できないは関係なく）としての意見を出してもらった。

(主な意見)

- 石 川⇒スキー場のオープンは、1月4日からと固定されている。雪が降ったらオープンし、雪が溶けたらクローズにして欲しい。クロカンコースに夜間照明がないため夜間はヘッドライトを付けて練習している。遠軽はクロカンコースに夜間照明がある。現状と課題の中に「いつでも、どこでも」と書いているが、実際に環境が整っていない。
- 海 谷⇒指定管理にしてから野球場については、雪が溶けたらすぐに使いたい。3年前には5月1日からでないとオープンできないため、さわらないで欲しいといわれた。改善されているのか。
- 藤 本⇒以前に野球少年団が早く使いたいために、重機を使ってグラウンド内を除雪したが、フェンス等を破損してしまったことがあったため、管理を任されている指定管理者の方で5月1日前の父母の作業はやらせないということがあった。現在は、条例上は、5月1日からであるが、例年、少年団や中学校の練習及び試合で使用することから、グラウンド状況により利用者の希望にできるだけ対応するということにして、野球連盟と連携して融雪剤を撒くなど行っている。
- 石 川⇒親子でできるマラソン大会でスピードを競うのではなく、楽しむ大会を行ってはどうか。その他にプールを使った町民が参加できる大会はどうか。冬場はミニバレーが行われているが、人が減ってきてチームもなくなってきている。
- 小 橋⇒同居している母親はスポーツをしてないので、湧別総体のインストラクターの指導を受けてみたいが、車の免許がないため移動手段がない。バスがあるがバス代がかかってしまう。例えば65歳か70歳以上の高齢者に対してバス無料の補助券があったら良いと思う。新しくスポーツをやりたいと思った人をどれだけ取り込めるかが大事である。インストラクターの指導を湧別と中湧別と隔週でやるなりバス代の往復を見てもらいたい。湧別町全体で考えた時にやりたいと思った時に工夫をすることで、スポーツに関わる人が増えるのではないか。
- 峯 田⇒インストラクターの指導日に行ってみたら年齢層が高い。若い人と分けた方が良いのではないか。
- 石 川⇒筋力アップを求める人もいるため、インストラクターの質が求められる。遠軽町は体育協会が施設の指定管理を受けているが、職員でインストラクターの資格を持っている人がいて、個々に合ったメニュー作りを行っている。
- 星 ⇒現在、町全体で公共施設等総合管理計画を立てており、同じ機能を持つ施設を統合、廃止し最終的に総面積を何%削減していくかという計画がスタートしている。各体育館については役割分担をして存続させていく等の検討がされることになる。
- 中 元⇒中湧別小学校では全校生徒92人のうち30人が少年団に加入している。保護者と

しては、送迎の関係でやらせてあげられないという親が多い。移動手段が課題である。また、指導者は一般の方だと18時以降でないという指導に来れないため、練習が終わって帰宅して勉強などすると夜中の22時、23時と遅くなってしまふ。それと、毎年、中学校の陸上部の生徒に北海学園大学陸上部の合宿に合わせて指導を行っているが、小学生に対しても運動会前や秋のマラソン大会前に徒競走やマラソンが早くなるような指導をしてもらいたい。そうするとやらせてあげたいという親も増えるのではないか。

石 川⇒やらない子ども、運動の苦手だと思ふ子どもは、スポーツに出会えないで大人になってしまう。きっかけがない。昔はどこの学校の校庭にもスケートリンクがあり冬になると滑る環境にあった。チャレンジスポーツスクールは月1回行っているが、3年生になると運動能力の高い子はスポーツ少年団に入ってしまう。現在の運動会やマラソンは同じ位のレベルの子と走るようになっている。

海 谷⇒運動神経の良い子は少年団に入るが、青少年指導センターの駅伝は40年続いている。走ることだけはできるという子はある。各子ども会単位で実施すると漏れる子もいる。団体競技がなりたたなくなってきた、個人競技が増えてきている。「表に出て来ない子どもをどう引き出すか」である。

石 川⇒参加できる機会が多くすれば良い。足が遅いというだけで運動嫌いになる子どももいるのではないか。

野 口⇒プールのスポーツイベントを実施するのも良いが水は危険が伴う。陸上は良いと思う。水泳教室は今年は参加が多い。

石 川⇒事故が起こらない対策をすれば良いと思う。

海 谷⇒合宿誘致は果たして町民にメリットがあるのか疑問である。駒大苫小牧高校野球部が合宿している時は施設が使えない。北海学園大学が合宿する際は、指導をしてくれるので、町民に財産を与えている。町民に対して運動教室を実施するべきである。

宮 澤⇒柔道も上野姉妹は湧別町出身なのに指導者がいない。町内に教える人を確保できれば良い。駒大苫小牧高校野球部の合宿のメニューの中に子ども達と交流する機会があれば、憧れてスポーツを始める子ども達が出て来るのではないか。

海 谷⇒高野連の関係でスカウト行為になってしまうため、子ども達と接触できない。大学生はしぼりががないため、指導が受けられる。遠軽町ではやっている。また、湧別町は遠征費補助が恵まれている。

宮 澤⇒中湧別小学校の現状を聞くと、スポーツをやっている子とやっていない子の二極化以上にやっていない子のはるかに多い。

石 川⇒やっていない子を引っ張り出すためには色々な機会が必要である。

(その他の意見)

- ・トレーニングルームはシーズン券があるが、プールはシーズン券がない。
- ・湧別高校のマラソン大会に一般町民も走ってもらい、参加料は高校のスポーツ振興に使ってはどうか。
- ・楽しく遊びながらスポーツに親しんで行くことが大事。
- ・色んなスポーツを仕掛けていく。
- ・青少年センターのキックベースは楽しかった思い出が残る。チャレンジスポーツスクールも高学年にもあれば良い。少年団に入らない子も入ると思う。
- ・指導者ボランティア、審判の資格を取りに行くための支援（補助）、支援を受ける条件として指導者登録してもらい、指導をしてもらう。
- ・ミニバレーが高齢化で成り立たなくなってきてトレーニングルームで仲間を作っていきたい。「年寄りの健康のために集まれるスポーツ」が必要。

【結 論】

- ・上記の意見を元に、現状と課題について事務局の方で反映させるよう修正を行うこととする。

【次回日程について】

- ・9月中旬頃を予定
- ・内容～スポーツ活動・スポーツ施設の現状と課題について

②第59回北海道スポーツ推進委員研究協議会について

- ・10月12日～13日に行われる研修会の参加者について協議した。
- ・既に野口委員が表彰に選出され、参加することとなっているが、5月の会議に希望をしていた鈴木委員の参加が可能であれば、予算上あと2名までは参加できることを話した。
- ・希望を募った所、白田委員はスケジュール確認、中元委員は学校の許可が降りれば参加できるとのことであった。
- ・中元委員については、後日、校長に打診するものとする。

平成29年度

第2次湧別町社会教育中期計画策定にかかる
第1回 第5専門部会（スポーツ活動・スポーツ施設） 会議

と き 平成29年 8月18日（金）
午後6時00分～
ところ 文化センターさざ波 中会議室

<会議日程>

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 議 題

- 第2次社会教育中期計画専門部会
スポーツ活動・スポーツ施設の現状と課題について

4. その他

- 次回日程の確認

5. 委員長あいさつ

6. 閉 会

第9節 スポーツ活動・スポーツ施設の現状と課題・推進目標・推進項目

【スポーツ振興の現状と課題】 (素案)

町民一人一人が心身ともに健康で充実した生活を営むためには、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、町民のだれもがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる、生涯スポーツ社会の実現を図ることが求められています。

健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、スポーツに対する多様なニーズに応じた各種スポーツ教室・講習会や大会の開催、合宿誘致、スポーツ施設の整備など、地域性を生かしたスポーツ活動の推進に努めてきました。

体育協会とスポーツ少年団本部の加盟団体は自主的に活動しており、活動の支援を図ってきました。未加入の同好会やサークル団体も活発に活動している一方、会員の高齢化や少子化による会員の減少等、子ども達の体力の低下やスポーツ離れ、指導者不足など多くの課題を抱えているのが現状です。

近年、青少年の体力低下や成人、高齢者の生活習慣病が増加しており、心身の健康保持増進のために運動習慣が形成されるよう、平成29年度から湧別総合体育館にトレーニング機器を導入したことにより、町民の利用が多くなってきております。また、同年度に指定管理者事業として、インストラクターを試験的に配置し、それぞれの目的に応じた指導を行うことにより、継続的に運動を続けるきっかけづくりを図っています。

今後もより多くの町民にスポーツに親しむための意識の啓発やニーズの把握、指導内容の充実を図る必要があります。

スポーツ合宿誘致事業では、野球や柔道、合気道、陸上等の競技団体が町内で合宿し、町民との交流やスポーツへの意識高揚が図られています。今後も、積極的に合宿を誘致することにより、スポーツの普及発展と技術向上など教育的効果を高めるとともに、地域の活性化を図る必要があります。

各スポーツ施設においては、民間の能力を活用しつつ、サービスの向上や経費の削減を図ることを目的に指定管理者制度を導入しております。今後も利用者の視点に立った施設の整備充実を図るため、指定管理者への指導助言を行い、サービスの向上に資する必要があります。これまでも町民が快適に施設の利用ができるよう整備を進めてきましたが、老朽化により改修工事や修繕が必要とする施設が多く、引き続き計画的な施設の整備が必要です。

<今後の課題>

- 町民がスポーツに親しむ機会提供と普及を図る必要があります。
- 指導者の発掘・養成や資質向上を図り、指導体制の充実を図る必要があります。
- 体育協会・スポーツ少年団などの関係団体の活動支援の充実を図る必要があります。
- スポーツインストラクター等を配置し、指導内容の充実や町民のニーズを踏まえたトレーニング機器等の整備を図る必要があります。
- スポーツ合宿の誘致と受け入れ体制の充実を図る必要があります。
- 指定管理者の知見を活用しサービスの向上と適正な管理運営に努める必要があります。
- スポーツ施設の計画的な施設の改修等に努める必要があります。

(推進目標と推進項目)

スポーツ振興の推進目標	スポーツは健康のみならず、いつまでもみんな楽しんで
-------------	---------------------------

<p>人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる</p>	
項目	<p>課題解決のための方策</p>
生涯スポーツの普及	<p>方策に対応する事業等の取り組み状況（担当職員による心りがえり）</p> <p>● ライフステージに応じた各種教室、講習会、大会などスポーツに親しむ機会を提供し、健康や体力づくりの増進と住民相互の交流の推進に努めます。</p> <p>● 多様なスポーツニーズに対応するため、ニュースポーツの研究・普及に努めます。</p> <p>● 体育協会やスポーツ少年団など関係団体の育成と自主的な活動支援に努めます。</p>
活動等の支援	<p>● 健康・コミュニティづくりのため、身近な地域でのスポーツ活動支援に努めます。</p> <p>● 学校の施設を一般市民に開放し、スポーツの日常化と健康の維持増進に努めます。</p> <p>● スポーツ団体の指導者やリーダーの養成を図り、指導体制の充実に努めます。</p> <p>● スポーツ・文化遠征費補助制度の活用により、全道及び全国大会への参加促進に努めます。</p> <p>● 外部指導者等の招聘により、高度な技術習得の支援に努めます。</p> <p>● 町民が身近でスポーツに親しむための環境づくりに努めます。</p>
学習環境づくり	<p>● 指導者不足問題は小規模市町村では大きな問題となっており、本町も例外ではなくこれといった対応は取れない状況である。この問題の解決方法については、町内で活動している各団体やスポーツ推進委員等と連携しながら考えなければならぬ。</p> <p>● 本制度により、スポーツを行う各団体・個人が生き生きとスポーツを楽しみ上位大会を目指すことができています。また、補助に対処する不公平感を持たれないよう、補助手続きには慎重を期し、適正に処理を行うことができています。</p> <p>● 各教室の開催にあたり、専門的な知識・技能を持つ外部指導者を積極的に招聘してきています。種目によっては世界的な技術を持つ方も招聘しており、スポーツに対する意欲の向上や高度な技術習得の支援に努めることができています。</p> <p>● 町民が身近でスポーツに親しむための環境づくりに努めます。</p>
連携・ネットワーク	<p>● スポーツ推進委員の連携強化を図り、スポーツの推進に努めます。</p> <p>● 体育協会やスポーツ少年団、自治会、関係団体等との連携強化とネットワーク化を図り、スポーツの振興に努めます。</p>

項 目	課題解決のための方策	委員からの意見・課題等
生涯スポーツの普及	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフステージに応じた各種教室、講習会、大会などスポーツに親しむ機会を提供し、健康や体力づくりの増進と住民相互の交流の推進に努めます。 ● 多種多様なスポーツニーズに対応するため、ニュースポーツの研究・普及に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育館は、なにかきっかけがないとなかなか行かない。何半口腹せるとか、膝の痛みを予防する運動等、目標があれば行く目的になるのではないか。 ● スポーツインストラクターは、こんなことができる等の提案やメニュー等（例えば若いママの教室で少し痩せたい人や美容等）目標別に教室があれば参加しやすいのではないか。 ● トレーニンググループに属がないので、競を付けて欲しい。
活動等の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育協会やスポーツ少年団など関係団体の育成と自主的な活動支援に努めます。 ● 健康・コミュニティづくりのため、身近な地域でのスポーツ活動支援に努めます。 ● 学校の施設を一般市民に開放し、スポーツの日常化と健康の維持増進に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 団体や職域チームで参加できる大会などを開催することにより、大会等を通して様々な職種とのネットワークができる。
学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ団体の指導者やリーダーの養成を図り、指導体制の充実に努めます。 ● スポーツ・文化遠征費補助制度の活用により、全道及び全国大会への参加促進に努めます。 ● 外部指導者等の招聘により、高度な技術習得の支援に努めます。 ● 町民が身近でスポーツに親しむための環境づくりに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少年団等多くの指導者が審判等の資格を取得することにより町の財産となる。将来の指導者、育成者が育っていくのではないか。 ● 審判資格の補助は、その個人のものではなく団体のために取得するものであるため、少年団等の団体に補助するのがいいのではないか。
連携・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ推進委員の連携強化を図り、スポーツの推進に努めます。 ● 体育協会やスポーツ少年団、自治会、関係団体等との連携強化とネットワーキ化を図り、スポーツの振興に努めます。 	

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる

第2次湧別町社会教育中期計画策定までのスケジュールについて

時 期	内 容
平成28年12月22日 (第3回定例会議)	第1次社会教育中期計画のふりかえり (家庭教育)
平成29年1月25日 (臨時会議)	第1次社会教育中期計画のふりかえり (図書館・博物館文化財・少年教育・青年教育)
平成29年 3月24日 (第4回定例会議)	第1次社会教育中期計画のふりかえり (成人教育・高齢者教育・スポーツ振興・基盤整備)
(平成29年4月1日)	(社会教育委員の改選)
平成29年4月24日 (4月定例教育委員会)	教育委員会において、計画策定にかかる諮問についての議案提出
平成29年4月27日 (第1回定例会議)	教育委員会から社会教育委員の会へ諮問書の提出 基本構想の確認、専門部会担当委員の決定、今後のスケジュールの確認 ●社会教育委員の会より、スポーツ推進委員、図書館協議会委員に対して専門部会の立ち上げ(意見聴取)を依頼
平成29年6月 ～9月 策定会議(専門部会)	①「現状と課題」(素案)の協議・まとめ (専門部会ごとに1～2回程度の開催) (素案は第1次計画のふりかえりをもとに事務局で作成)
平成29年10月 (第2回定例会議)	「現状と課題」の集約・審議、社会教育目標の見直し 中期計画テーマの見直し
平成29年6月 ～11月 策定会議(専門部会)	②「推進目標・推進項目」(素案)の協議・まとめ (専門部会ごとに1～2回程度) (素案は第1次計画のふりかえりをもとに事務局で作成。)
平成29年12月 (第3回定例会議)	計画全体の集約と審議、計画(案)の完成
平成30年1月	<u>正副委員長より計画(案)を教育委員会(教育長)へ答申</u> <u>答申後、教育委員会において答申の報告</u>
平成30年 1月10日 ～2月9日	パブリックコメントの募集(約1ヶ月)
平成30年 3月	<u>公募結果について教育委員会へ報告、計画の決定(策定)</u> 印刷・発行

※下線部は修正箇所

平成29年度第59回北海道スポーツ推進委員研究協議会開催要項

- 1 趣 旨 北海道のスポーツ推進委員が、それぞれの地域におけるスポーツの実践活動及び研究成果を発表、協議し、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。
- 2 主 催 北海道スポーツ推進委員協議会
公益社団法人全国スポーツ推進委員連合
旭川市
- 3 共 催 上川管内スポーツ推進委員協議会
- 4 後 援 スポーツ庁、北海道・北海道教育委員会
- 5 主 管 北海道スポーツ推進委員研究協議会（旭川大会）実行委員会
- 6 期 日 平成29年10月12日（木）～13日（金）
- 7 会 場
 第1日目 開会式、表彰式、講演、シンポジウム
 旭川市大雪クリスタルホール 音楽堂（1階523席、2階74席、計597席）
 （〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 TEL：0166-69-2000）
 第2日目 研究協議（第1～4分科会）
 旭川市大雪クリスタルホール
 ・音楽堂 （定員 597名）
 ・大会議室 （定員 180名）
 ・レセプション室 （定員 90名）
 ・第2・第3会議室 （定員 90名）
- 8 日程

		11:30	12:30	13:30	15:00	15:30	17:00	18:30
12日		受付	開会式 表彰式 連絡事項	講演	休憩	シンポジウム		交流会
13日	研究協議 (4分科会)							
	9:30	11:30						

9 内容

(1) 講演

演題 心に響くコミュニケーション ペップトーク～やる気を引き出す魔法の言葉～
講師 岩崎由純氏（日本ペップトーク普及協会）

(2) シンポジウム

○テーマ

「スポーツがもたらす魅力と環境づくり」

○シンポジスト

阿部雅司氏（名寄市特別参与、リレハンメルオリンピック金メダリスト）

永瀬 充氏（北海道新聞社パラスポーツアドバイザー、バンクーバーパラリンピック銀メダリスト）

上野和香子氏（とうまスポーツクラブ）

○コーディネーター

丸 昇氏（道北陸上競技協会）

(3) 研究協議

○テーマ

「生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくりとスポーツ推進委員の役割」

○分科会テーマ

第1分科会「総合型地域スポーツクラブの現状と課題について」

第2分科会「子どもの体力向上に向けた取り組みについて」

第3分科会「地域の特性を生かしたスポーツ文化の創出について」

第4分科会「障がい者及び高齢者がともに楽しむ環境等の整備について」

10 参加者

市町村スポーツ推進委員及び教育委員会が推薦するスポーツ担当職員

11 参加料

研修会参加費 1人2,000円

交流会参加費 1人5,000円

12 分科会担当内訳（第59回）

	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
サブ テーマ	総合型地域スポーツクラブの現状と課題について	子どもの体力向上に向けた取り組みについて	地域の特性を生かしたスポーツ文化の創出について	障がい者及び高齢者がともに楽しむ環境等の整備について
発表者	鹿部町教育委員会 瀧澤 静	蘭越町スポーツ推進委員会 委員長 金子 辰四郎	愛別町スポーツ推進委員会 委員長 阿木 潔	当別町スポーツ推進委員 木村 純一
	白老町スポーツ推進委員会 事務局長 吉田 美鈴	根室市スポーツ推進委員協議会 会長 加藤 義則	佐呂間町スポーツ推進委員 委員長 室井 久志	平取町スポーツ推進委員協議会 委員長 坂下 晋章
	帯広市スポーツ推進委員協議会 会長 作田 克博	札幌市スポーツ推進委員 山崎 優子	標茶町スポーツ推進委員 小杉山 有生	
助言者	留萌管内スポーツ推進委員連絡協議会 会長 奥山 和彦	宗谷管内スポーツ推進委員協議会 会長 小川 順二	オホーツク管内スポーツ推進委員連絡協議会 会長 横川 正明	北海道スポーツ推進委員協議会女性委員会 委員長 小林 敬子
	行政機関	行政機関	行政機関	行政機関
司会者	名寄市スポーツ推進委員会 委員長 安達 啓治	富良野市スポーツ推進委員会 会長 木戸 秀子	士別市スポーツ推進委員会 副委員長 山本 静枝	北海道スポーツ推進委員協議会女性委員会 副委員長 柳澤 信子
運営者	旭川市スポーツ推進委員会 柳谷 明彦	旭川市スポーツ推進委員会 小林 豊光	旭川市スポーツ推進委員会 西田 美知子	旭川市スポーツ推進委員会 副委員長 奥山 亮枝
記録者	名寄市教育委員会教育部スポーツ・合宿推進課 高橋 弘樹	富良野市市民生活部 市民協働課 越前 琢哉	士別市教育委員会 合宿の里推進室 安藤 龍司	旭川市市民生活部 スポーツ課 松浦 小夜香
	旭川市スポーツ推進委員会 梅津 秀春	旭川市スポーツ推進委員会 和田 明典	旭川市スポーツ推進委員会 奈良 義徳	旭川市スポーツ推進委員会 泉谷 昌洋

13 その他

- (1) 参加市町村におけるスポーツ推進委員の活動で、参考となる資料がありましたら、A4判1枚にまとめ、700部を当日受付に提出願います。
- (2) 研究協議会1日目の受付前に、北海道スポーツ推進委員協議会役員会並びに北海道スポーツ推進委員協議会女性委員会を開催する予定です。
- (3) 研究協議会1日目終了後に交流会を開催します。

日時 平成29年10月12日(木) 午後6時30分から
会場 旭川グランドホテル 3階 グランドホール

14 アクセス

◆旭川市大雪クリスタルホール

〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 TEL: 0166-69-2000

<交通アクセス>

○JRでお越しの場合

JR旭川駅「南口西側出入口」より徒歩10分

○お車でお越しの場合

旭川鷹栖インターチェンジより20分

◆旭川グランドホテル

〒070-0036 北海道旭川市6条通9丁目 TEL: 0166-24-2111

<交通アクセス>

○JRでお越しの場合

JR旭川駅「南口東側出口」より徒歩13分

15 問合せ先

北海道スポーツ推進委員研究協議会(旭川大会)実行委員会事務局
〒070-8525

旭川市6条通10丁目 旭川市第三庁舎1階

旭川市市民生活部スポーツ課 / 吉田, 大淵

TEL 0166-23-1944

FAX 0166-25-2680

E-mail sport@city.asahikawa.lg.jp